

## B型肝炎ワクチンの接種について

医療関係者など、B型肝炎ウイルスキャリア（HBs抗原陽性者）の血液や体液に接する可能性のある方は、感染を予防するため、事前にB型肝炎ワクチンを接種して免疫（HBs抗体）をつけておくことが望ましいとされています。

ワクチンは、0、1、6か月後の3回接種を行います。

3回目の接種終了後から1～2か月後にHBs抗体検査を行い、10mIU/mL以上であれば免疫獲得と判定します。

以下の「1.ワクチン接種前検査が必要な方」「2.ワクチン接種が必要な方」「1.および2.が不要な方」を確認の上、「2.ワクチン接種が必要な方」に該当する方は、速やかにB型肝炎ワクチンの接種をご検討ください。

### 1. ワクチン接種前検査が必要な方

①②③のいずれかに当てはまる方

①	現在または過去に、B型肝炎に感染していない	HBs抗原（－）かつ HBs抗体（－）
②	B型肝炎ワクチンを受けたことがない	
③	過去のワクチン接種で、免疫を獲得できなかった	ワクチン接種後のHBs抗体価 <b>10 mIU/mL未滿</b>

### 2. ワクチン接種が必要な方

ワクチン接種前検査で、④⑤のどちらも当てはまる方

④	HBs抗原	（－）
⑤	HBs抗体価	<b>10 mIU/mL未滿</b> （＋）や（－）ではなく、数値をご確認ください。 ただし、⑦に該当する方は、一般的にワクチン接種は必要ありません。

### 1.および2.が不要な方

⑥⑦のいずれかに当てはまる方は、一般的にワクチン接種や経時的な抗体価測定は必要ありません。

接種や抗体価測定の要否については、勤務先の産業医にご相談するか、「医療関係者のためのワクチンガイドライン」<sup>※1</sup>をご覧の上、ご検討ください。

⑥	現在または過去にB型肝炎に感染	HBs抗原（＋）	ワクチン接種による効果は、ありません。
⑦	過去にワクチンを接種し、接種後のHBs抗体価が10 mIU/mL以上であった（免疫獲得）		B型肝炎ワクチンの接種後、免疫獲得者となった場合は、30年以上にわたって発症予防効果が認められています。 免疫獲得後、抗体価が10mIU/mL未滿に下がっても、一般的に追加のワクチン接種は必要ありません。

※1: 日本環境感染学会「医療関係者のためのワクチンガイドライン第3版（2020）」

## ご予約

一般財団法人 石川県予防医学協会

TEL 076-249-7222（音声ガイダンス①）

受付時間	
平日	8:15 ～ 12:00 13:30 ～ 15:30
土曜	8:15 ～ 12:00 13:30 ～ 15:00

※ 第2・4土曜、日曜、祝日 休診

## 接種スケジュール

B型肝炎ワクチンは、1回目の接種から4週後に2回目、さらに1回目の接種から20～24週後に3回目の計3回を皮下または筋肉内に接種します。

